

「高調波流出電流計算書」に基づく協議のお願い

東京電力パワーグリッド株式会社

お客さまが高調波発生機器を新設、増設または更新する等の場合は、「高圧又は特別高圧で受電する需要家の高調波抑制対策ガイドライン（以下：ガイドライン）」及び「高調波抑制対策技術指針（以下：技術指針）」に基づいた高調波流出電流の計算等を行ない、お客さま受電設備より流出する高調波電流値がガイドラインの上限値を超える場合には、お客さまにより高調波電流流出防止対策をお願いしております。

このため、高調波発生機器の新設、増設または更新等に伴い当社へお申込みをいただく場合は、高調波流出電流計算書（以下：計算書）に基づく協議をさせていただきますので、計算書のご記入ご提出をよろしくお願いいたします。

また、計算書作成にあたり、お客さまでご利用いただける計算書を用意しておりますのでご利用いただきたいと存じます。なお、計算書ご記入の際は、次の点にご留意をお願いいたします。

1. 契約電力相当値

- ・ 契約電力が 500kW未満の場合には、参考資料「契約電力の算定方法」により算定した値をご記入願います。
- ・ 発電設備（非常用を除く）を設置される場合または所有されている場合には、原則として、需要場所内の負荷設備容量における 1 年間を通じての最大負荷を契約電力とし、別途協議をお願いします。
- ・ 発電設備から流出する高調波電流については、別途協議をお願いします。

2. 高調波発生機器

- ・ カタログ、仕様書などに「ガイドラインの対象」である旨記載されている場合は、漏れなくご記入願います。
 - ・ 自家発電設備の系統と接続され、当社系統と接続されない設備は除きます。
 - ・ 高調波発生機器の内容が不明な場合はメーカー等へご確認願います。
- ※ 負荷設備の内容が未定の場合は、後日、計算書をご提出願います。

3. 機器最大稼働率

- ・ ガイドラインおよび付属書に基づく最大稼働率をご記入いただく場合は、個々の機器ごとの稼働率をご記入不要です。
- ・ 個々の機器ごとの稼働率をご記入いただく場合は、需要全体の最大需要電力発生時における個々の機器の稼働率をご記入願います。
- ・ 需要家がビル（主たる使用機器が空調や照明等である事務所、ホテル、店舗、学校、病院等の建物）である場合は技術指針に記載されている最大稼働率を適用可能です。
- ・ 稼働率が変更となる場合は、変更前の稼働率と変更後の稼働率をご記入願います。

以 上